



折戸小夜子 (多摩の風)

1. 日常生活で不便を感じている「今すぐにやってほしい」という声から
2. 公共施設にEV急速充電設備設置を

問 電動自転車は重く、駐輪場の一段高いところに入りが困難という声が多いが、改善が必要ではないか。

答 市営駐輪場では多様な自転車に対し、思いやりエリアの設置や、利用が低い二段ラックの上段を撤去した。

問 改善した多摩センター駐輪場の利用率は46%と低く、放置自転車の撤去数は増えている。民間事業者に、自転車駐輪場の整備改善の協力を申し入れてはいかがか。

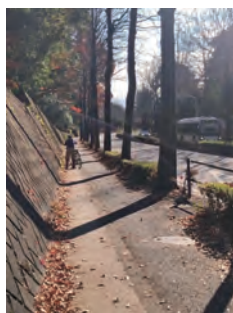
答 民間商業施設は施設利用者の駐輪場なので難しい。

問 高齢者が元気で安心して外出できる道路空間の整備は必要だ。上之根大通りの長い坂道に一息つけるベンチの設置を要望するがいかがか。

答 上之根大通りの長い坂道途中の2カ所の入り口のうち、1ヶ所にベンチを整備することを検討する。

問 国は2030年に向け電気自動車用の公共用急速充電設備を推奨。東京都も設備購入の全額補助等、手厚い支援体制を表明している。多摩市での設置の方向はいかがか。

答 今後公共用の急速充電設備の設置を検討していく。



大くま真一 (日本共産党)

1. 他市より高い保育園給食費
～格差解消、無償化へ！
2. おむつ定期便で定期的な見守りを

問 幼保無償化に伴って、認可保育園では給食費の実費徴収がはじまり、多摩市は他市よりも高い状況が続いている。立川市で徴収額がゼロになるなど格差が広がっている。これまでも引下げを求めてきたがいかがか。

答 公定価格の改定を含め、補助の見直し協議を始めた。

問 東京都市長会では、都に対して、幼稚園なども含めて給食費無償化に向け、国に働きかけることや都が補助の拡充を求めている。学校給食費無償化が進む中、子どもの食は社会が保障するという潮流ではないか。

答 無償化の際には広く子ども施策全体で進めるべき。

問 虐待死の60%以上が0歳児。子育ての入口で定期的な見守りを強化すべき。おむつ定期便は申請のハードルを下げ、定期的な対話の機会をつくり、経済的な支援にもなる。要配慮ではない世帯も含め、既存の施策がない月や第一子など、できることから取組めないか。

答 早期からの切れ目のない支援体制を取り、研究も行っている。まずは各家庭の状況に応じた支援を進める。



藤條たかゆき (日本維新の会)

1. 高市早苗新政権の政策が地方行政に及ぼす影響について
2. 永山駅北口の橋の取り壊しについて

問 国政では自民党・日本維新の会の連立で日本初の女性首相が誕生し、政策協定「12本の矢」を着実に前へ進めている。地方自治体における物価高対策では、重点支援交付金を活用しつつ多摩市でもスピード感ある支援が必要である。キャッシュレス還元キャンペーンや下水道料金減免など、実績ある施策も再検討すべきと思うがどうか。

答 交付金限度額が示された後、早期に検討に入る。

問 給食費無償化では、国・都の補助の行方を注視しつつ、多摩市としては負担軽減で浮いた財源を「子どもたちの食の質向上」に継続投入すべきと思うがどうか。

答 食育や食材の安定調達、地産地消の推進に繋げたい。

問 永山駅北口の橋撤去問題では、UR・日本医科大学多摩永山病院・地権者・市が集まる協議会を立ち上げるべき、「土地の権利」「駅前再開発」「日本医科大学多摩永山病院の将来」など長期視点が不可欠。今回のことをきっかけに“より良い永山の未来”をつくる議論を市がリードすべきと考えるがどうか。

答 関係者と密に協議を続け架け橋になってまいりたい。



石山ひろあき (自民党)

聖蹟桜ヶ丘地区の人口変動について

問 多摩第一小学校の通学路、大河原公園内トンネルが暗い。明るい電球に変え、街灯を両側点灯にしてはどうか。

答 学校と意見交換しながら検討していく。

問 多摩第一小学校・多摩中学校の通学区域内に日本語学校があり、外国人生徒が歩道を広がって歩いていると地域から意見があった。教育委員会の対応について伺う。

答 直接、教育委員会から日本語学校に呼びかけ対応をしてもらった。

問 聖蹟桜ヶ丘地区での放課後子ども教室、週5日の拡大については、スピード感をもって進めていただきたい。次年度以降の予定・方針について伺う。

答 学童クラブの待機が生じている小学校から優先順位を勘案して導入していく予定である。

問 人口増の聖蹟桜ヶ丘地区で放課後子ども教室は喫緊の課題だ。是非、多摩第一小学校での導入が必要ではないか。

答 子どもの安心安全を担保しながら、保護者が不安にならないように対応を進めていきたい。

